
とある悪夢の怪談物語-ghost story-

メルタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある悪夢の怪談物語－ghost story－

【Nコード】

N88950

【作者名】

メルタ

【あらすじ】

彼の名前は浅原 啓斗。都内にあるとある高校に入学した。そんな彼には秘密があった。それは彼に関わった人間が……。

死に神のカタワラ（前書き）

はじめまして！

小説は初めて書きます。

国語力とか文才とか全くないですが宜しく願います

死に神のカタワラ

第一章

「死神ノカタワラ」

都内にあるとある高校に入学した俺、浅原 啓斗はつまらない毎日を送っていた。友達なんて作る気がしないし作らない方が幸せなのだ。そう、俺と関わりとほとんどの奴が死ぬ……。

幼稚園の時、母親と指切りをしたことがあった。その翌日…母親は死んだ。顔がなくて体はたくさんバラバラになっていた。それは母さんの死ぬ前の日の夜兄ちゃんに見せてもらったグロテスクな漫画に出てくるキャラクターそっくりだった……。

父子家庭になり俺の世話は兄ちゃんが見てくれる事になった。

ある日、悪いことをした俺を叱ってきた兄ちゃんが鬱陶しくてシネばいいと思った事が合った。そして兄ちゃんは死んだ……。それでも俺は偶然だと思いきこんでいた。でも偶然じゃないことを思い知らされる事になる出来事に遭遇した。

それは、俺が小4だった頃……。クラスのボス的存在だった”逢沢隆之”に掃除当番を変わってほしいと言う頼みを断ったことから始まる。次の日から逢沢を中心とした虐めグループから目を付けられるようになった。はじめは可愛いものだった。無視から始まって酷いときは殺されそうになった。そして俺は、逢沢隆之がシネば良

いのにと思った。そして翌日、逢沢は俺が思った通りに死んだ。左半分の顔がなく全身の骨が砕かれ腹から腸が引きづり出されていたと聞いた。俺は怖かった。偶然だ。偶然だ。と言いつても手遅れだった。逢沢は俺が殺したようなものだから……。その日から毎日のように逢沢を中心とした虐めグループにいた”橘 剛”からの俺への問い詰めがはじまった。鬱陶しい。だから消えろと思った。そして、橘は失踪。そして、学校中に広まったのだ。浅原に関わるとこの世から消される……。と。一人孤独に過ごした2年間はあつという間だった。

そして、中学になった。

中学では同じ小学校だった奴が一人もない学校に入学した。とにかく無愛想に振る舞い誰も寄せ付けないようにしていた。にも関わらず、俺に関わろうとする一人の男子がいた。”荒谷祐介”。初めのうちは鬱陶しいと思っていたがなぜか消えてほしくないと思っていた。心のどこかで友達がほしかったのだろうか……。月日がたつにつれて俺は自分の体質を忘れていくようになった。それと同時に友達も増え、荒谷とは人生で初めての親友と言う関係になった。

楽しい時間は早く進み俺は3年生になる。そしてその2日後、最愛の父が死んだ。事故だ。遺産の名義が俺になっていた。総額十億円……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8895o/>

とある悪夢の怪談物語-ghost story-

2010年11月13日20時14分発行